保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■保証書（別添）
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。
● 保証期間はお買い上げの日から1年です。

■補修用性能部品の最低保有期間
インダクションヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
● この期間は通商産業省の指導によるものです。
● 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」（別添）にお問い合わせください。

■ご転居されるときは
ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■修理を依頼されるときは 出張修理
「こんなときは」（15ページ）を調べていただき、なお異常のあるときは、運転を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

● 保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
ご連絡していただきたい内容

品名	日立インダクションヒーター
形名	MH-D22A
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印などもあわせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

● 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部品などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用のインダクションヒーターの点検を！

●インダクションヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●スイッチを入れてもヒーターが作動しないときがある。 ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音がする。 ●インダクションヒーターにさわるとビリビリ電気を感じることがある。 ●その他の異常や故障がある。	▶	お願い	故障や事故防止のため、インダクションヒーターのブレーカーを切って販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

日立冷熱株式会社
〒101 東京都千代田区神田須田町1－23－2
（大木須田ビル）
電話 (03)3255－7201

株式会社 日立ホームテック
〒105 東京都港区西新橋2－15－12
電話 (03)3502－2111

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2－15－12
電話 (03)3502－2111

9610（DC・明）D22A・1 818078

取扱説明書

HITACHI

日立インダクションヒーター
MH-D22A形
〈テーブル・カウンター組込タイプ〉

業務用

〈保証書・設置工事説明書〉別添付

もくじ

● この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
● お読みになったあとは、保証書、設置工事説明書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例

⊘記号は「禁止」(しないでください)を示します。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は「強制」(必ずしてください)を示します。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合はプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠ 警告

改造はしない
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理をおこなわない
火災・感電・けがの原因
修理はお買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください

コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない
感電・火災の原因

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない
感電・やけど・けがの原因

吸気口、排気口やすき間などにピンや針金などの金属物など、異物を入れない
感電・異常動作によるけがの原因

コードやプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因

単相交流200V以外の電源は使用しない
感電・火災の原因

定格容量に合った(200V-15A以上)コンセントを単独回路で使用する
他のコンセントと併用すると配線部が異常発熱して発火の原因

水をかけない
感電・ショートの原因

トッププレートに衝撃を加えない
万一ひびが入ったり割れた場合、そのまま使うと過熱や異常動作、感電の原因
このような場合は、コンセントからプラグを抜いて使用を中止し、すぐに修理を依頼してください

⚠ 注意

水のかかるところや火気の近くでは使用しない
感電・漏電の原因

缶詰やアルミ箔など、なべ以外の物はのせない
破裂したり赤熱して、けが・やけどの原因

揚げ物調理中はそばを離れない
油が少ない場合など油温が上がりすぎ、発火の原因

空焼きや過熱をしない
やけど・なべの破損の原因

本体になべをのせたまま持ち運ばない
なべが滑り落ちて、やけどの原因

油煙が多く出たら通電を切る
油が高温になっているので、続けて加熱すると発火し、火災の原因

揚げ物調理中は飛び散る油に注意する
油が飛び散ってやけどの原因

使用後しばらくは、なべの熱でトッププレートが熱くなっているので、手をふれない
やけどの原因

他の器具（ガスコンロなど）であらかじめ加熱した油を使用しない
温度制御装置がはたらかず、異常加熱による火災の原因

排気口、吸気口をふさがない
本体内部の温度上昇による火災の原因

なべの下に紙などを敷かない
なべの熱で紙が焦げ、火災の原因

不安定なところで使わない
本体が傾いていると、なべが滑り落ち内容物がこぼれて、やけど・けがの原因

プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因

心臓用ペースメーカーをお使いの方は、本製品のご使用にあたって医師とよくご相談ください
本製品の動作がペースメーカーに影響を与えることがあるため

使用時以外は、プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因

高温部にふれないでください
ふた・なべ・とってなどが熱くなりますので、やけどに注意してください。

リモコン付き製品を近くに置かないでください
テレビやビデオなどのリモコン付き電化製品に対し、雑音やリモコン誤動作の原因になります。

キャッシュカード・カセットテープ・自動改札定期券などの磁気製品は近づけないでください
内容破損の原因になります。

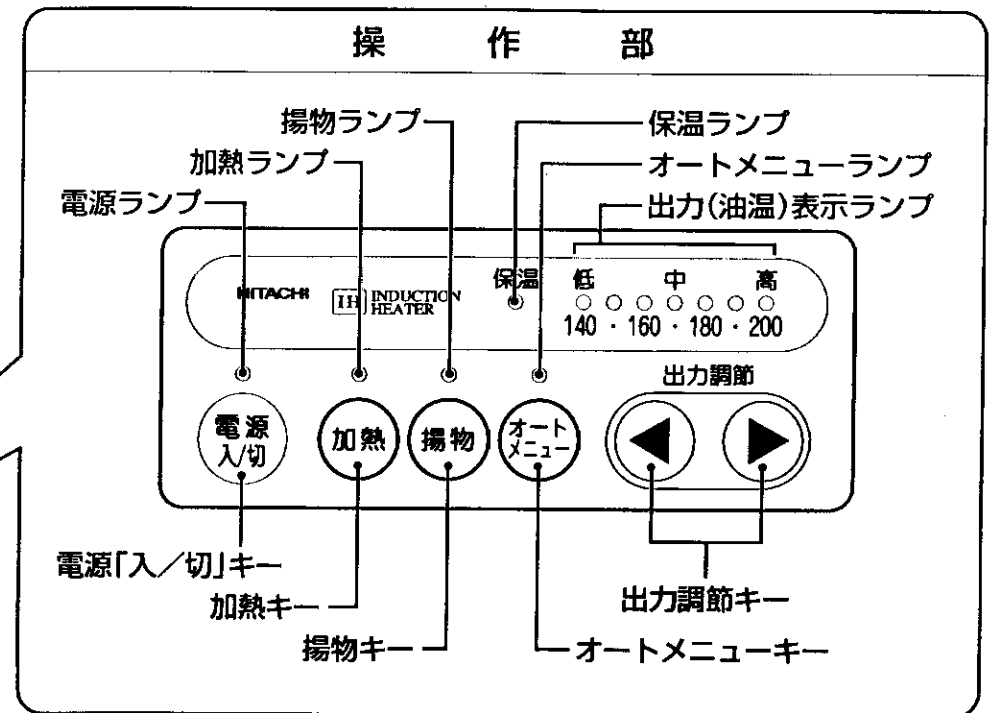
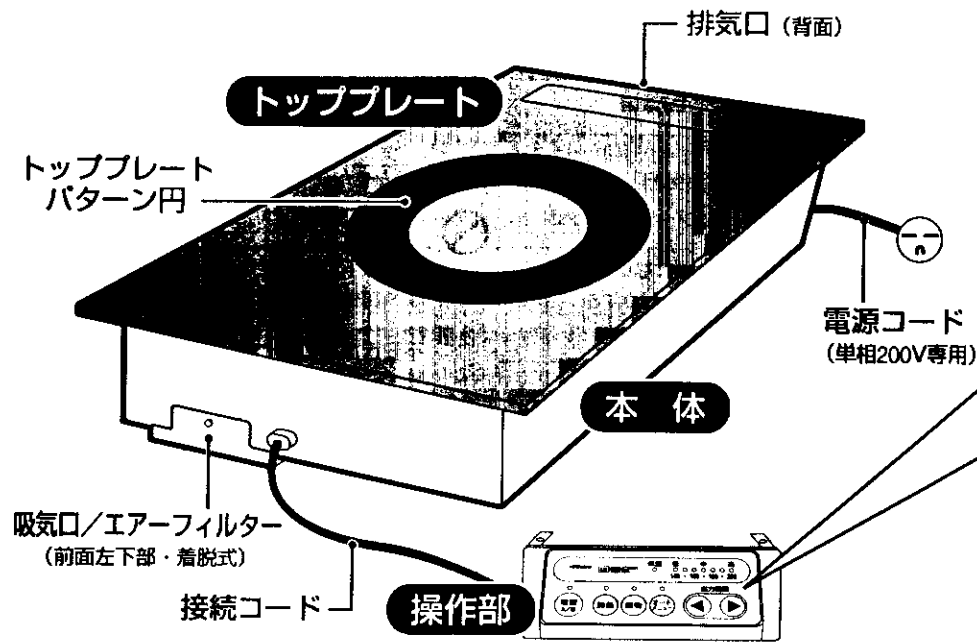
なべはトッププレートパターン円の中心に置いてください
円の中心からずらして加熱すると「なべなし検知装置」がはたらき自動的に停止します。

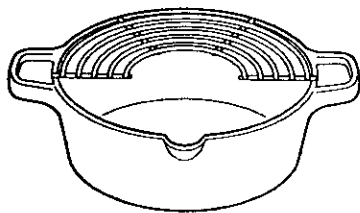
本製品では、なべの材質・形状・大きさにより使用できない場合があります
使用できないなべを加熱しようとすると「なべなし検知装置」がはたらき自動的に停止します。

各部のなまえ

排気口（背面）
トッププレート
トッププレート パターン円
電源コード（単相200V専用）
本体
吸気口／エアーフィルター（前面左下部・着脱式）
接続コード
操作部

操作部

揚物ランプ
加熱ランプ
電源ランプ
保温ランプ
オートメニューランプ
出力（油温）表示ランプ
保温 低 中 高
140・160・180・200
出力調節
電源入/切 加熱 揚物 オートメニュー
電源「入／切」キー
加熱キー
揚物キー
出力調節キー
オートメニューキー

別売品

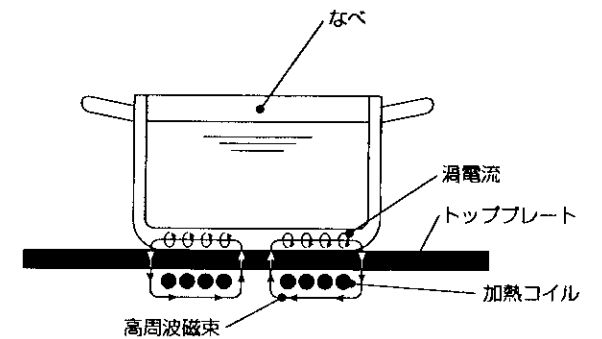
天ぷらなべ　HT-N1

安全のための機能

■なべなし検知装置
アルミなべなど使えないなべ（P6参照）を置いたときや、なべが置かれていないときまたはなべの位置が中央よりずれているときなどにはたらき、ブザーでお知らせして通電を止めます。

■小物発熱防止装置
誤ってナイフやフォークなどの小物を置いたとき、または底の径が12cm未満のなべを置いたときなどにはたらき、ブザーでお知らせして通電を止めます。
（小物が多いときは加熱することがありますので、ご注意ください。）

■温度過昇防止装置
空焼きなど、調理中になべの温度が上がりすぎたときにはたらき、ブザーでお知らせして通電を止めます。

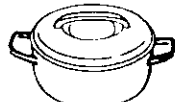
〈加熱のしくみ〉

加熱コイルに高周波電流を流すと高周波磁束が発生します。この加熱コイルの上に鉄などのなべを置くと、なべ底に渦電流が発生し、それによってなべ底が発熱します。したがってなべ自身が発熱するので非常に効率がよく、安全です。

ご注意　本製品ではなべの材質・形状・大きさにより使用できないなべがあります。
使用できないなべを加熱しようとすると「なべなし検知装置」がはたらき、自動的に停止します。

使えるなべ、使えないなべ

使えるなべ

- 鉄・鉄鋳物・鉄ホーロー(耐熱性のもの)・ステンレス(18-0、18-8、18-10)など磁石の吸いつくなべ
- なべ底の直径12～27cmで、底の平らななべ

フライパン

両手なべ

やかん

18-8、18-10ステンレスなべにご注意ください

- 厚さが0.8mm以上のなべは「使えるなべ」として見分けますが、加熱する力が弱くなります。
- 厚さが1.5mm以上のなべは使えない場合があります。

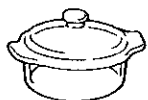
クラッドなべ(多層なべ)にご注意ください

- 種類によっては発熱しないものもあります。

※なべの種類によってビリビリ音が発生する場合があります。(磁力線によりなべ自体が振動するためです。)

なべを加熱しすぎたり、空焼きしたりすると、材質によっては変形・変色の原因になります。

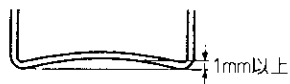
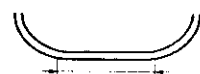
使えないなべ

- 耐熱ガラス・陶磁器・土なべ・アルミ製・銅製などの磁石につかないなべ
- なべ底が丸いなべ(中華なべなど)

耐熱ガラス

土なべ

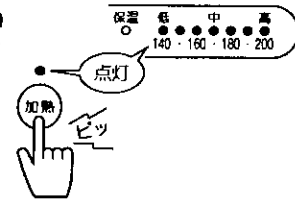
アルミ、銅製のやかんやなべ

中華なべ

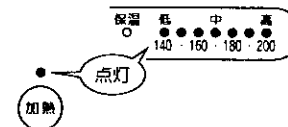
- なべ底に1mm以上のソリや脚がついているもの
- なべ底の直径12cm未満のなべ

使えるなべの見分けかた

1 電源「入／切」キーを押す

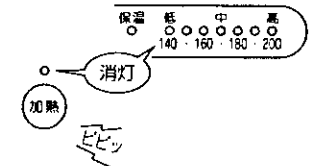
2 なべをトッププレート上のパターン円中央に置く

- このとき、なべにコップ1杯程度の水を入れてください。

3 加熱キーを押す

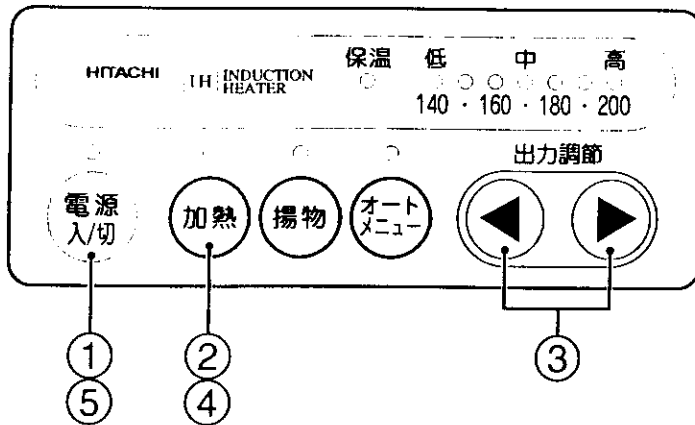
使えるなべの場合

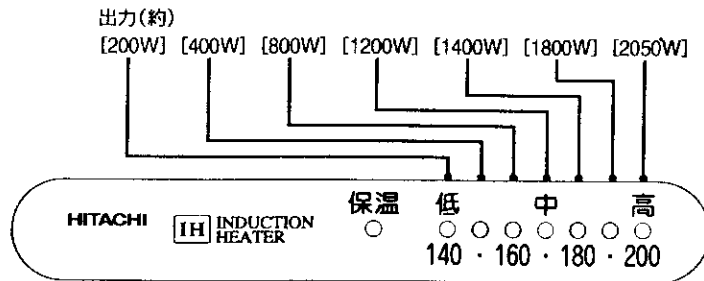
そのまま加熱します

確認したらすぐに電源を切ってください。
(そのまま加熱を続けると水が蒸発して空焼き状態となり危険です。)
また、使用できるなべでも材質や形状により加熱する力が弱くなる場合があります。

使えないなべの場合

約1秒後にブザーが鳴り、通電を停止します

使いかた

加熱調理

煮物・焼き物・いため物・蒸し物などの手動調理

出力(火力)調節の目安

■出力が強すぎるとふきこぼれることがあります。調理に合わせて調節してください。

ご注意

● 出力調節

なべの種類や材質、調理物の材料や量などによって出力を調節してください。

● 油の飛び散り

焼き物やいため物などをするとき、加熱スピードが早いので油がはねることがあります。やけどに注意してください。

● 油の発火

焼き物やいため物など、少量の油を入れて調理する場合、油の温度が急激に上がるため、発火することがあります。出力に注意して、加熱しすぎないでください。

1

電源「入/切」キーを押し、なべをトッププレート上のパターン円中央に置く

● なべは必ずトッププレート上のパターン円中央に置きます

2

加熱キーを押して、通電させる

3

出力調節キー(◀▶)で出力を調節し、調理を始める

◀ …出力を小さくするとき

▶ …出力を大きくするとき

押すごとにランプが消灯(点灯)していく

※ ◀ キーを押し続けると保温モード(約80℃に保つ)になります。

● 焼き物、いため物のときは本体から離れず、でき具合に合わせて出力調節してください。
加熱しすぎると調理物の発火の原因となりますので、なべを予熱する場合は特に注意してください。

● いため物など調理中にフライパンなどが高温になりすぎて温度過昇防止装置がはたらくことがあります。この場合は再度加熱キーを押してください。

4

調理が終わったら加熱キーを押して通電を止める

● 長時間の連続通電による自動停止機能は設けていません。
調理が終わったら必ず加熱キーを押して通電を止めてください。

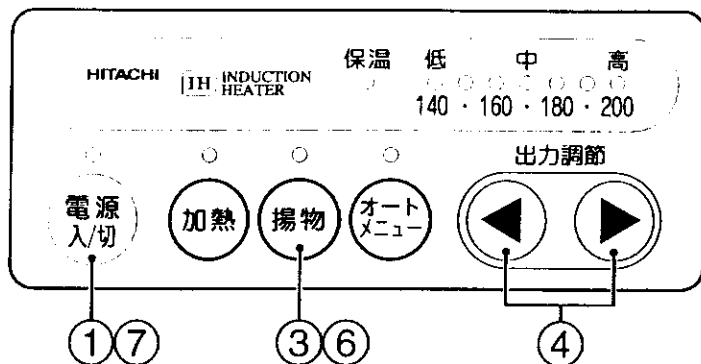
5

電源「入/切」キーを押す

● 使用後は必ず電源を切ってください。

揚げ物調理

揚げ物に適した油の温度をほぼ一定に自動調節

●揚げ物調理は別売の天ぷらなべ(HT-N1)以外のなべは使用しないでください。
(別売の天ぷらなべ以外のなべでは、天ぷら油の温度コントロールが正しくできない場合があります)

温度調節の目安

■矢印の範囲で温度調節してください。

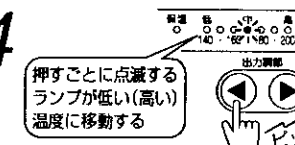
メニュー例	140 (約140℃)	● (約150℃)	160 (約160℃)	● (約170℃)	180 (約180℃)	● (約190℃)	200 (約200℃)
コロッケ						←→	
魚介類の天ぷら				←→	←→	←→	
野菜の天ぷら		←→	←→	←→			
フライ・串かつ		←→	←→	←→			
とりのから揚げ				←→			
冷凍食品				←→	←→	←→	
ドーナツ		←→					

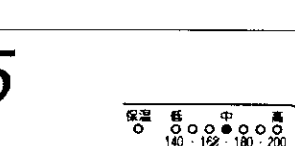
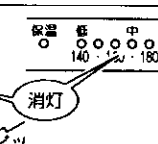
●温度調節の範囲は別売の天ぷらなべ(HT-N1)で油800g(約900ml)を使った場合です。
●油量、室温などによって表示と実際の油温がずれることがあります。
●次の場合、天ぷら油の温度コントロールが正しくできない場合があります。
(1)油の量が少ないとき
(2)トッププレート表面に異物が付着しているとき
(3)温度の高い油を使用したとき

揚げ物調理のポイント　－油の飛び散りを少なくするために－

■衣や生地作りに注意……●ドーナツなどの生地にはベーキングパウダーや砂糖を入れてください。
●なべの中に揚げ残しや天かすがないか常に確認してください。

■材料は水気をよくふく……●えびは尾の先を切って水分を出します。
●ししとう辛子は縦に切り込みを入れます。
●いかは皮をむいて切り目を入れます。

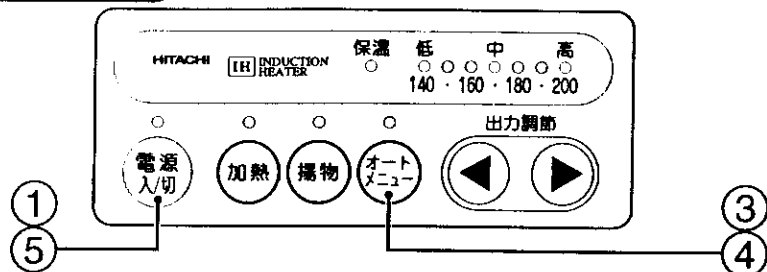
■破裂に注意……●しいたけ・ピーマンなど水分の残りやすい材料
●けんさきいか・するめいかなど長時間揚げすぎた場合

1 電源「入／切」キーを押す

2 油を入れたなべをトッププレート上のパターン円中央に置く
●なべは必ず別売の天ぷらなべ(HT-N1)を使用してください
●油は必ず800g(約900ml)以上入れてください。
●なべの内側に水分を残したまま油を入れないでください。

3 揚物キーを押す
(180℃で点滅)
▶揚物キーを押すと自動的に180℃の設定になり、予熱が始まります。

4 出力調節キー(◀ ▶)で油温を設定する
(押すごとに点滅するランプが低い(高い)温度に移動する)
◀…油温を下げるとき
▶…油温を上げるとき
▶設定した温度の表示ランプが点滅し、予熱します。
▶設定温度180℃のときは出力調節キーを押す必要はありません。

5 ブザーが鳴り、温度表示ランプが点灯に変わって予熱が完了したら調理を始める
▶調理中、油温を変更すると変更後の油温表示が点滅します。ブザーが鳴り、点滅から点灯に変わったら変更後の油温です。
▶煮物・焼き物・いため物・蒸し物調理などで加熱をおこなった直後に揚げ物調理をおこなうと、設定温度とは異なった油温で予熱完了のブザーが鳴る場合があります。
しばらくすると設定温度の油温になります。
●油が適温にならないうちに材料を入れないでください。

6 調理が終わったら、揚物キーを押して通電を止め、なべをトッププレートからおろす
●長時間の連続通電による自動停止機能は設けていません。
調理が終わったら必ず揚物キーを押して通電を止めてください。
●なべと油は熱くなっています。取り扱いには十分ご注意ください。

7 電源「入／切」キーを押す
●使用後は必ず電源を切ってください。

オートメニュー調理　調理プログラムにしたがい、自動的に出力を調節

例　標準仕様：しゃぶしゃぶ

オートメニュー調理の設定内容は、お客様のご要望に応じて変更が可能です。お気軽にご相談窓口までお申し出ください。(ただし有料です)

1	点灯 ピッ	電源「入／切」キーを押す
2		なべをトッププレート上のパターン円中央に置く
3	点灯 ピッ	オートメニューキーを押す 標準仕様：しゃぶしゃぶ 最初の6分間は約2kWで、その後自動的に約1.2kWに切り換わり、連続通電する。
4	消灯 ピッ	調理が終わったら、オートメニューキーを押して通電を止める ●長時間の連続通電による自動停止機能は設けていません。調理が終わったら必ずオートメニューキーを押して通電を止めてください。
5	消灯 ピッ	電源「入／切」キーを押す ●使用後は必ず電源を切ってください。

お手入れ

- 必ず電源スイッチを切り、本体が冷めてからお手入れしてください。
- ご使用のたびにお手入れをしてください。
  (汚れたままにしておくと、変色、こびりつきの原因になります。)
- 食器用洗剤をご使用ください。
  (シンナー、ベンジン、磨き粉(トッププレート以外)、たわしは使用しないでください。表面を傷つけます。)

本　体

- 吸気口、排気口にほこりがたまっている場合は、掃除機で吸い取ってください。
  (ほこりがついたままで使用すると故障の原因になります。)
- エアーフィルターは1ヶ月に1度は取りはずして掃除してください。

お手入れの後は必ずもとどおりに本体にセットしておいてください。

エアーフィルターの取りはずしかた

① 本体前面のネジをはずす

② エアーフィルターのツメ部を本体からはずす

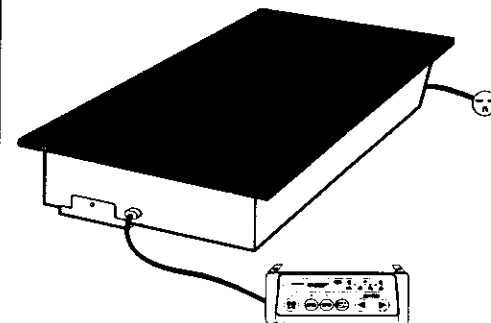
エアーフィルターの取りつけかた

本体下面の角穴にツメ部を引っ掛け、取りはずしたネジを締める

トッププレート

- ぬれふきんでふき取り、直接水をかけたり金たわしや金属へらなどの固い物でこすることは、絶対にしないでください。
  (傷、割れの原因になります)
- 特に汚れのひどいときは食器用洗剤または磨き粉などを少量つけてふき取り、もう1度ぬれふきんでふき取ってください。

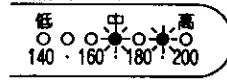
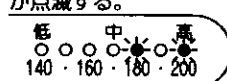
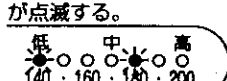
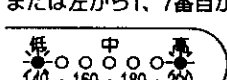
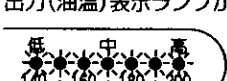
磨き粉は別売のガラスクリーナー(HT-K1 標準価格：1,400円)や市販のクリームクレンザーをご使用ください

※お使いいただいているうちに、摩耗によりトッププレート表面の印刷がはがれてくることがありますが、性能的には問題ありません。そのままお使いください。

操　作　部

やわらかい乾いた布でふき取り、直接水をかけたり金たわしや金属へらなどの固い物でこすることは、絶対にしないでください。
(故障の原因になります)

保守点検

本製品を安全に長くお使いいただくために、以下の保守点検を毎日実行してください。また長期間使用しない状態を継続したあとに使用する場合にも必ず点検をしてからご使用ください。

No.	点　検　内　容
1	トッププレートがひび割れしていないか。
2	エアーフィルターが正しく取りつけられているか。 エアーフィルターが汚れたり目詰まりしていないか。
3	操作部のシートがはがれたり破れたりしていないか。
4	吸気口、排気口にほこりなどの異物が付着していないか。
5	製品の表面にへこみなどがないか。
6	製品動作中に異音・異臭・振動がないか。
7	電線に変色や破れ、過熱がないか。

※異常が見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店もしくはご相談窓口までご連絡ください。

仕　　様

電源		単相200V（50／60Hz）
消費電力		2050W（約200W～2050Wまで7段階出力調節）
操作部		●保温（約80℃）調理 ●揚げ物調理（140～200℃） ●オートメニュー調理
接続コード長さ		0.8m
電源コード長さ		2.0m
外形寸法	本体	幅 315mm × 奥行 360mm × 高さ 85mm
	操作部	幅 183mm × 奥行 67.2mm × 高さ 70mm
質量（重さ）		約6kg

こんなときは

製品の動作に異常が発生した場合には下表をご覧になり、指示にしたがってください。原因不明の場合や正常動作に復帰しない場合は直ちに使用を中止し、故障現象及び故障時の状況などをご相談窓口までご連絡ください。

No.	現　象	原因及び処置
1	電源ランプが点灯しない。	●電源は確実に接続されていますか。 ●ブレーカーが落ちていませんか。
2	なべが加熱されない。	●なべの大きさ・材質・なべ底形状は適切ですか。
3	キー操作ができない。	●電源は確実に接続されていますか。 ●ブレーカーが落ちていませんか。 ●電源キーは入っていますか。
4	出力が弱いと感じられる。	●18-8、18-10 ステンレス底の厚いなべ、出力の低下する形状のなべを使用していませんか。 ●電源電圧が低くありませんか。
5	出力（油温）表示ランプ　左から4、6番目が点滅する。 低　中　高 140・160・180・200	●空焼きになっていませんか。 （加熱を止め、冷ましてからお使いください。）
6	出力（油温）表示ランプ　左から5、7番目が点滅する。 低　中　高 140・160・180・200	●吸気口、排気口をふさいでいませんか。 ●フィルターが詰まっていませんか。
7	出力（油温）表示ランプ　左から1、5番目が点滅する。 低　中　高 140・160・180・200 または左から1、7番目が点滅する。 低　中　高 140・160・180・200	●センサーが未接続もしくは断線しています。ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店もしくはご相談窓口までご連絡ください。
8	出力（油温）表示ランプが全て点滅する。 低　中　高 140・160・180・200	●加熱中になべをおろしませんでしたか。 （なべをおろすと20秒後に自動停止機能が働きます。）

設置後の確認

●設置工事終了後、次の手順で動作確認を行いチェックしてください。

	確　認　項　目		チェック欄
設置環境	周囲に物品を設置する場合には、後日のサービス作業に支障をきたさないよう十分配慮してください。		
製品外観	トッププレートが割れていたり、汚れていないことを確認してください。		
電気工事	接地工事		
	漏電ブレーカの設置		
	本体と操作部間コネクタの接続		
	電源プラグの接続		
電気試験	①電源電圧が単相２００Ｖであることを確認してください。		
	②1/4程水を入れた電磁調理器用なべをﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄ上の円(ﾊﾟﾀｰﾝ図)に合わせてのせてください。 ※電磁調理器用なべは、鉄、鉄鋳物、鉄ﾎｰﾛｰ、ｽﾃﾝﾚｽ(18-0、18-8、18-10)など磁石の吸いつくなべで、なべ底の直径12～27cmで底の平らななべ(ソリが1mm以下)をご使用ください。使えないなべを加熱しようとした場合はﾌﾞｻﾞｰが鳴り、通電を停止します。(詳細はMH-D22A取扱説明書を参照してください)		
	③電源入/切キーを押してください。	➡ 電源ﾗﾝﾌﾟが点灯する。	
	④加熱キーを押してください。	➡ 加熱ﾗﾝﾌﾟ及び出力表示ﾗﾝﾌﾟが全点灯する。	
	⑤出力調節キーを押してください。	➡ 押した回数に連動して出力表示ﾗﾝﾌﾟが点灯または消灯する。	
	⑥出力調節キー　を押し続けてください。	➡ 保温ﾗﾝﾌﾟが点灯する。	
	⑦加熱キーを押してください。	➡ 加熱ﾗﾝﾌﾟ及び出力表示ﾗﾝﾌﾟが全消灯する。	
	⑧揚物キーを押してください。	➡ 揚物ﾗﾝﾌﾟが点灯し、出力(油温)表示ﾗﾝﾌﾟの180℃ﾗﾝﾌﾟが点滅する。	
	⑨出力調節キーを押してください。	➡ 押した回数に連動して出力(油温)表示ﾗﾝﾌﾟが順次点滅する。	
	⑩揚物キーを押してください。	➡ 揚物ﾗﾝﾌﾟ及び出力表示ﾗﾝﾌﾟが全消灯する。	
	⑪ｵｰﾄﾒﾆｭｰキーを押してください。	➡ ｵｰﾄﾒﾆｭｰﾗﾝﾌﾟが点灯する。	
	⑫ｵｰﾄﾒﾆｭｰキーを押してください。	➡ ｵｰﾄﾒﾆｭｰﾗﾝﾌﾟが消灯する。	
	⑬電源入/切キーを押してください。	➡ 電源ﾗﾝﾌﾟ及び全ﾗﾝﾌﾟが消灯する。	
終了		終了	

●チェック後は、必ず電源入/切キーを「切」にしてください。

●この設置工事説明書は必ずお客様にお渡しください。

確認印	

各種ランプが点灯・表示をしない場合は故障しておりますので販売元に修理を依頼してください。

日立冷熱株式会社
〒101 東京都千代田区神田須田町1-23-2
(大木須田町ビル)
電話 (03)3255-7201

株式会社 日立ホームテック
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

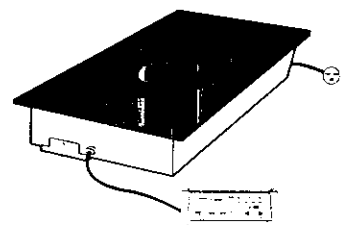
9610(業調・明)D22A・1　818079

設置工事説明書 (工事業者のみなさまへ)

日立インダクションヒーター　MH－D22A形

テーブル、カウンター組込タイプ

この器具を正しく安全にご設置いただくために
この「設置工事説明書」をよくお読みになって
指定された工事を行ってください。

設置工事は必ず電気工事士の免許をお持ちの方が
行ってください。

本品はﾃｰﾌﾞﾙ、ｶｳﾝﾀｰなどに取り付けるもので
ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ、ﾐﾆｷｯﾁﾝなどへは取り付けできません

安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために
重要な内容ですので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例
- ⃠ 「禁止」(しないでください)を示します。
- ● 「必ずしてください」を示します。
- ● 「必ずアース工事をおこなってください」を示します。

⚠警　告

	●改造はしないでください。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
	●設置工事は、この「設置工事説明書」に従って確実に行ってください。設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。
	●電気工事は「電気設備に関する技術基準」に従い、必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。電源回路容量不足や設置不備があると、感電・火災の原因になります。
	●設置するときは、火災予防条例に基づいて、可燃物との離隔距離を必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。
	●電源プラグは刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因になります。
	●単相２００Ｖ・１５Ａ以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	●漏電しゃ断器を設置してください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
	●アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

⚠注　意

●トッププレートに衝撃を加えないでください。万一ヒビが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。
※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

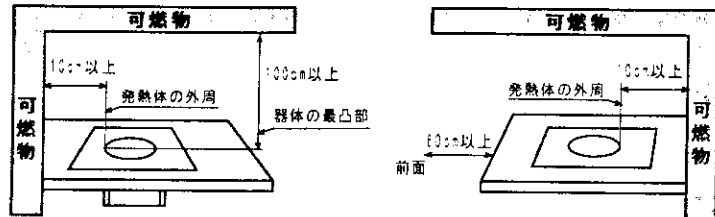
●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●試運転中は、トッププレートなど高温部に触れないでください。やけどの恐れがあります。

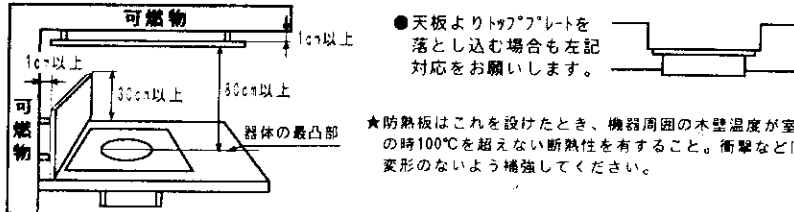
●天板の材料には、耐熱材料(熱硬化樹脂化粧板(JIS・K・6903)またはこれと同等以上)の物を使用してください。耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

設置場所の確認

●火災予防条例、電気設備技術基準第１８２条に従って設置してください。
●ｲﾝﾀﾞｸｼｮﾝﾋｰﾀｰは電気用品取締法で定められている平常温度上昇試験で各部の温度が９５℃、異常温度上昇試験で１４５℃となると推定し、取付台のｲﾝﾀﾞｸｼｮﾝﾋｰﾀｰ近傍の材料はそれに耐える物を使用してください。
●カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板(JIS・K・6903)と同等以上の耐熱性のあるものを使用してください。ニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
●本品の金属部が取付台の金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属(メタルラスなど)と取付台の金属部を接触しないようにするか、または本品の金属部が取付台の金属部に接触しないように取り付けてください。
(電気設備技術基準第１８２条により義務づけられています。)
●本品を設置する厨房が建築基準法に定める〔内装制限を受ける調理室〕に該当する場合には、厨房全体についても内装材の制限を受けます。
●本品は水平に設置してください。
●本品は火災予防上、可燃物との間を図のように離して取り付けてください。
(消防庁通知により定められた数値による)

★製品の前面はできるだけ広く(60cm以上)あけて通行時や冷蔵庫、家具などの扉が当たらないようにしてください。

●上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください
(消防庁通知により定められた数値による)

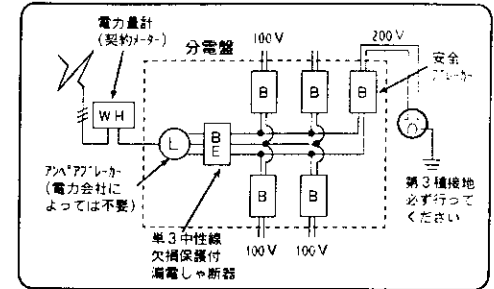
●天板よりﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄを落とし込む場合も左記対応をお願いします。

★防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の木壁温度が室温35℃の時100℃を超えない断熱性を有すること。衝撃などによって変形のないよう補強してください。

単相200V専用コンセントの設置

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

電源にはﾌﾞﾚｰｶｰ付の専用回路を設置し、必ず漏電しゃ断器を設けた配線にしてください。漏電しゃ断器は、定格感度電流が30mAのものをお使いください。

定　格
単相２００Ｖ用 ２５０Ｖ-１５Ａ(接地極付)
コンセント差し込み形状

●専用回路(分岐回路)配線

コンセントの接地工事 ｲﾝﾀﾞｸｼｮﾝﾋｰﾀｰは定格電圧200Vですから接地工事が必要です。

接　地　線

法規に基づいた線(φ1.6mm以上の軟銅線で被膜が緑色のもの)を使用してください。

接地線の保護

接地線は塩ビ電線管で保護してください。

アース接地の場所

湿気の多い次のようなところを選んでください。
①ガス管、水道管、地下ケーブルなどの布設されていない場所。
②避雷針用の接地所から２ｍ以上離れたところ。
③人通りの少ない場所。

接地抵抗の測定

接地抵抗値の目安は100Ω以下になるようにしてください。
●接地工事は第３種接地工事を行ってください。
●漏電しゃ断器を設けた場合……500Ω以下

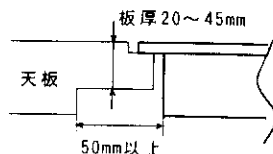
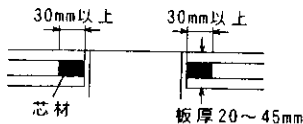
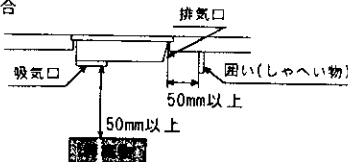
設置前の準備

付属品を確認する　●取扱説明書、保証書があることを確認してください。

固定金具(フック) 2個	押さえ板 2個	ｺｰﾄﾞ押さえ 1個	クランプ 3個	ﾈｼﾞｶﾊﾞｰ 2個
ﾎﾞｰｽｲﾃｰﾌﾟ 1本	丸木ネジ(φ4×14) 5個	Ｍネジ(M4×6) 1個	六角ﾎﾞﾙﾄ(M6×40) 2個	六角ﾎﾞﾙﾄ(M6×30) 2個

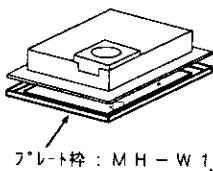
設置前の準備

使用天板についてのご注意

◆天板が木材などの場合
- ●板厚20～45mmのものを使用してください。
- ●板厚が45mm以上の天板を使用する場合は、本体取付穴の周囲を50mm以上の幅で加工してください。

◆天板がフラッシュ構造の場合
- ●本体を受ける位置に芯がくるようにしてください。

◆天板の吸気口・排気口の近傍にしゃへい物を設ける場合
- ●本体への空気の吸い込みや排気をしゃへいする場合、しゃへい物から吸気口・排気口を50mm以上離して取り付けてください。

プレート枠を使用する場合

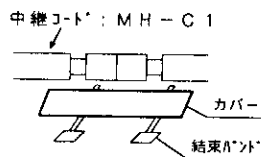
- ●トッププレートを天板上面から飛び出して固定する場合は必ず別売のプレート枠を取り付けてください。(この場合、取付天板の板厚は10～40mm)

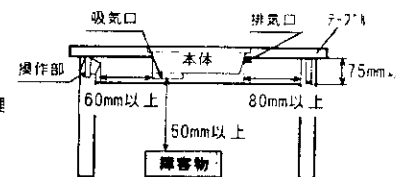
・詳細は各別売品添付の設置工事説明書を参照してください。
・別売品はお買い求め先へお問い合わせください。

プレート枠：MH－W1

中継コードを使用する場合

- ●本体と操作部を接続するコードの長さは0.8mまでです。長さ不足の場合は別売の中継コード(1m)を使用してください。
(中継コードは1本の延長までとします。)

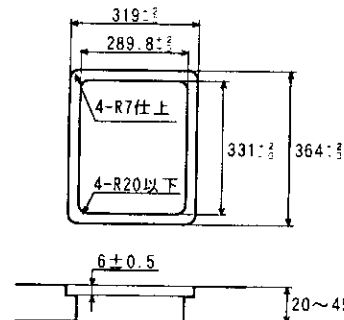
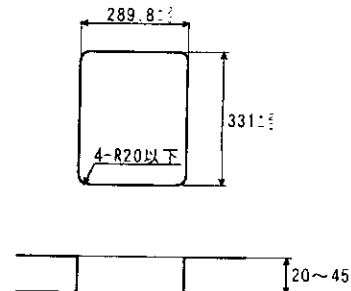
・詳細は各別売品添付の設置工事説明書を参照してください。
・別売品はお買い求め先へお問い合わせください。

取付け加工

1．テーブル・座卓に取り付ける

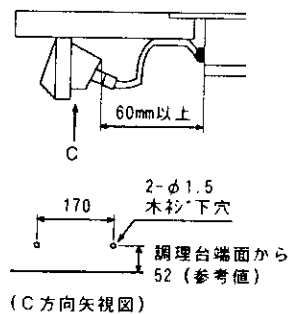
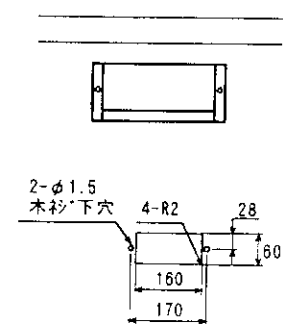
壁や幕板などの障害物は本体の吸気口・排気口から80mm以上離して取り付けてください。
また本体の下側50mm以内に障害物などがないようにしてください。
※本体下方は吸気口・排気口部のフィルター掃除や修理対応のため障害物を取り付けないでください。やむを得ない場合は取り外せる構造にしてください。

2．取付穴の加工

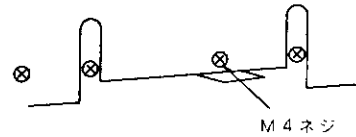
本体と操作部の取付用の穴をあけます。
取付台天板の板厚は20～45mmにしてください。
※「本体取付穴」と「操作部取付穴」の間隔は本体と操作部が接触せず、かつ接続コードが届く範囲にしてください。

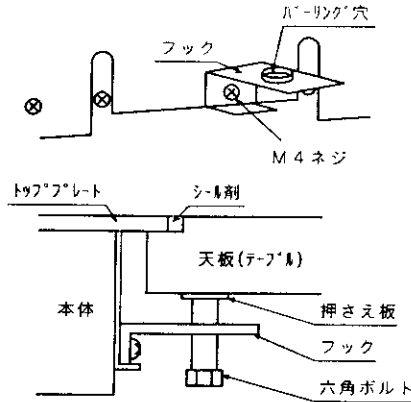
◆本体部取付穴　単位：[mm]

①プレート枠なしの場合

②プレート枠ありの場合

◆操作部取付穴　単位：[mm]

①天板に取り付ける場合

(C方向矢視図)

②化粧板に取り付ける場合

設置方法（本体）

①本体両サイドの中央のネジ（折り返しの上）を
　２個外します。

②本体を天板の取付穴にはめ込みます。
　はめ込み後、ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄのｺｰﾅｰ部を押して
　ガタツキがないことを確認してください。

③フックをﾊﾞｰﾘﾝｸﾞ穴が凸になる向きに取り付
　け、①で外したM４ネジで固定する。（両側）

④フックの下側から六角ボルトを締め付けて
　本体を天板（ﾃｰﾌﾞﾙ）に固定します。
　天板板厚20mm～30mm未満…M6×40六角ﾎﾞﾙﾄ
　　　　　30mm～45mm　　…M6×30六角ﾎﾞﾙﾄ
　この際に六角ボルトが天板にくい込まない
　よう押さえ板を天板に当ててから六角ボル
　トを締め付けてください。
　（ﾈｼﾞ締付ﾄﾙｸは80～90Ncmとする）
※本体がガタつかないことを確認してください。
　押さえ板が六角ﾎﾞﾙﾄと一緒に回ってしまう場合
　は両面ﾃｰﾌﾟなどで天板に固定してください。

⑤天板とﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの隙間をシールする場合は、
　本体を固定した後、シリコンシール剤
　（信越化学工業製KE45RTVなど）でシールして
　ください。

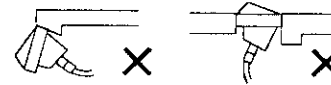
シール剤を塗布してから本体を装着すると、ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄ裏側にシール剤がまわり、修理時に外せなくなります。

設置方法（操作部）

天板に取り付ける場合

①ﾎﾞｰｽｲﾃｰﾌﾟを操作部上面に貼り付けます。
　本体から出ている中継リード線のコネクタと
　操作部のコネクタを接続します。

②コード押さえで操作部の裏板に接続コートを
　押さえ、M４ネジで固定します。

③木ネジで操作部を天板に固定します。
　・本体と接触せず、かつ、中継リード線が届
　　く範囲にしてください。
　　本体と操作部の間を60mm以上あけ、操作部
　　前面は天板端面より5mm以上内側に取り付け
　　てください。
　（前面に合わせて取り付けると体が触れてｽｲｯﾁ
　　が入る恐れがあります）
　・操作部を上に向けるような取り付けはしない
　　でください。

④必要に応じて、クランプを用い、ｺｰﾄﾞがたる
　まないように固定します。
⑤操作部前面にﾈｼﾞｶﾊﾞｰをはめます。

化粧板に取り付ける場合

①操作部前面のM４ネジを２個外し、固定金具
　を取り外します。
②本体から出ている中継リード線のコネクタと
　操作部のコネクタを接続します。
③コード押さえで操作部の裏板に接続コードを
　押さえ、M４ネジで固定します。

④化粧板にはめ込み、木ネジで固定します。

⑤必要に応じて、クランプを用い、ｺｰﾄﾞがたる
　まないように固定します。
⑤操作部前面にﾈｼﾞｶﾊﾞｰをはめます。